

# 長浜赤十字病院

## ▶ 病院の概要

所在地：長浜赤十字病院  
 開設者：日本赤十字社  
 開設年月日：昭和7年4月6日  
 病院長：濱上 洋  
 病床数：504床

診療科目：内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、血液内科、呼吸器内科、内視鏡内科、肝臓内科、小児科、精神科、外科、乳腺外科、肛門外科、血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科

医師数：74名 指導医数：42名（指導医講習修了）  
 一日平均外来患者数：993人 一日平均入院患者数：420人



## ▶ 研修プログラムの目的と特徴

医師として必要な診療に関する基本的知識を中心に臨床検査、治療法を学び病者に対するやさしい全人的な応接ができるような研修を目的とする。また、救急科の実習によりプライマリーケアが十分できるような研修医を養成する。救命救急センターでの研修では指導医とともにこなす副直にてファーストタッチの診療に当たるなどプライマリーケアの要点を網羅するような経験が可能である。豊富な症例の割に研修医の数が少なく、診断・治療のあらゆる場面で主体的に参加することが求められている。精神科を併設しており、精神疾患のみならず他疾患での精神的問題のケアも学べる。

## ▶ 研修スケジュール

1年次			2年次	
内科	救急部門	選択必修	地域医療	将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修
7ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	11ヶ月

- ・「必修科目」の救急部門は、救急部（救命救急センター）1ヶ月、救急麻酔1ヶ月、救命救急センター当直（週1回）で計3ヶ月とする。
- ・「選択必修科目」の麻酔科は必修とする。
- ・「選択必修科目」は外科・小児科・産婦人科・精神科より選択する。
- ・「将来専門としたい診療科」は次の診療科より1ヶ月単位で選択する。
- ・糖尿病・内分泌内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、精神科、地域保健

## ▶ 研修協力病院・研修協力施設

- ・滋賀医科大学医学部附属病院（協力型相当大学病院）・市立長浜病院・長浜保健所・雨森医院・長浜市浅井診療所
- ・浅井東診療所・おくだ医院・下坂クリニック・橋本医院・布施クリニック・源内クリニック
- ・地域包括ケアセンターいびき・近江診療所・永原診療所・弓削メディカルクリニック
- ・東近江市永源寺診療所

## ▶ 研修・認定施設一覧

- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設・日本内科学会教育関連施設・日本循環器学会循環器専門医研修施設
- ・日本消化器学会関連施設・日本糖尿病学会認定教育施設・日本神経学会准教育施設・日本精神神経学会研修施設
- ・日本小児科学会専門医研修施設・日本外科学会指定施設・日本消化器外科学会認定施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設・日本形成外科学会専門医研修施設・日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院・日本皮膚科学会専門医研修施設・日本泌尿器科学会基幹教育施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設・日本透析医学会教育関連施設・日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会指定施設・日本医学放射線学会専門医修練機関（画像診断、IVR、核医学）
- ・日本麻酔科学会認定病院・日本乳癌学会関連施設・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設・日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士実地修練施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設・日本胆道学会指導施設・日本アレルギー学会認定教育施設

## ▶ 病院のアピールポイント

院長からのメッセージ 院長 濱上 洋（京都大学卒・整形外科）



2013年に一連の改築工事が終了し、全ての建屋が耐震性を確保いたしました。精神科外来・病棟、救命救急センター、ICU、消化器内視鏡センター、外来化学療法室、リハビリテーションセンター、腎透析センター等が多くの機器を一新して新築移転あるいは改築増床されました。近々、常に満床で手狭な地域周産期母子医療センターNICUの増床拡充を計画中です。当院は平成21年より地域医療支援病院に指定され、外来患者数を抑え、入院・救急・重症・紹介患者の診療に重点を置いてきました。最近では外来患者数は1日1000人前後ですが、救命救急センターには1日当たり60名以上の1次から3次までの患者が受診し、救急車10台以上を受け入れています。湖北地域は医療資源が十分ではないこともあり、僻地医療を除く、5疾病4事業全てが当院の守備範囲です。2号館に新設した全医師が集う総合医局はとてもフレンドリーな環境で、女医ラウンジも備えています。当院は事務職やコメディカルとの風通しも良好であり、自然にチーム医療に臨むことができます。やさしさのある全人的医療を目指し、災害医療を使命とする長浜赤十字病院で医師としての人生をスタートしてみませんか。

研修責任者コメント 副院長 楠井 隆（京都大学卒・放射線科）



高齢者の多くは多病併存であるから高度高齢化社会で医師として最も必要なのは総合診療力すなわちプライマリ・ケアの能力である。さらに、多くの診療科、多くの施設での連携が必要である。当院が属する滋賀県湖北医療圏では療養型病床が著しく少なく、当院からは後送病院を経ることなく在宅などへ直接退院する例が非常に多い。当院での初期研修では救急（地域唯一の救命救急センター：症例多彩）でのファーストタッチで総合診療での臨床推論や種々の手技を、入院患者については治療や基本的処置などの他、精神科を含めた複数診療科での連携や多職種参加の救急病棟カンファレンスを始めとして多職種での連携を、退院後は連携先との情報交換・連携診療を、すべて一貫して学ぶことができる。連携=助け合いは医療に従事していく上で最も重要な能力の一つだと思われるが、それは災害医療でも活躍する赤十字の基本姿勢の一つとなっている。

研修医からのメッセージ

長浜赤十字病院は、「日赤」であるため救急医療・災害医療に熱心に取り組んでいます。研修医は原則週1回のセンター当直が義務付けされていますが、内科・外科・小児科の中で選ぶ事が出来ます。更に、どの科であっても必ず診察時には上級医が一人ついて、研修医の問診・選んだ検査や処方についてその場でアセスメントとフィードバックを行う事が出来ます。災害医療では、日頃からBLSやACLS受講を推奨しており、受講にあたって病院より補助金が出ます。又、大規模災害訓練や救護班訓練を行い、「もしも」の時に対し常に備えています。長浜駅近の地方病院ですが、その分アットホームで、医師間・医師・コメディカル間の距離が近く、互いの得意分野を学び学ばれる事の出来る病院です。是非一度、当院にお越し頂き雰囲気を見学してみてください。歓迎します。

## ▶ 募集要項

応募資格：平成30年3月に大学の医学部又は医科大学を卒業見込の者で、医師免許を取得見込の者。

募集人員：4人

処 遇（身 分） 常勤嘱託職員  
 （給 与） 1年次：330,000円/月  
 2年次：380,000円/月  
 （賞 与） 各年次：700,000円/年  
 （社会保険） 健康保険・厚生年金・厚生年金基金・  
 労災保険、雇用保険加入  
 （手 当） 通勤手当、扶養手当、住居手当、  
 日当直手当、時間外手当

宿 舎：宿舎有り（自己負担有り）

その他（出 張） 研究・研修費支給（50,000円まで）  
 ※但し、研修管理委員会の承認により  
 上記制限を超える支給も可

## ▶ 交通案内

車で 北陸自動車道「長浜IC」から  
 .....8分  
 電車で JR北陸本線「長浜駅」から  
 ・バス（市内循環バス）で5分  
 ..... 徒歩で15分



長浜赤十字病院

## ▶ 応募連絡先

所在地：〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14番7号  
 担当部課：長浜赤十字病院 人事課 担当：弓削 正史  
 電話：0749-63-2111 F A X：0749-63-2119  
 E-mail：resident@nagahama.jrc.or.jp  
 U R L：http://www.nagahama.jrc.or.jp/